## (聞取り記録1)生活介護事業所ほほえみ職員 太田雅子さん聞き取り記録

金子勇治さんは、知的障害と自閉スペクトラム症がある利用者さんで、いらいらすると、指の皮を剥いたりして、常にバンドエイドを必要とする人なのですが、興奮して暴れるということはなかったんです。

金子さんは、急な予定変更が苦手なのですが、サービス管理責任者の山田隆司さんは、金子さんの日中活動の予定を急に変えたりして、金子さんのことをイライラさせてしまうんです。そうなると、山田さんは、金子さんに「お母さんに言うよ」って言うんです。金子さんは、お母さんに言われたくないので、「お母さんに言わないで、言わないで」って繰り返して。

そのうち山田さんが近づいただけで、イライラしてきて、ゴミ箱を投げたり、テーブルクロス を破いたりするようになったんです。

それで、その行為がひどいときは、山田さんが金子さんの背中から腕を回して羽交い絞めに して止めていたんです。

2 ヶ月前のときは、金子さんの暴れ方がすごくて、山田さんが金子さんを床に倒して馬乗り になって押さえつけました。その時は、金子さんが「ごめんなさい、ごめんなさい、もうしません、 もうしません。お母さんに言わないで」と言って、泣きだして。

山田さんは、「こうすれば、金子さんが暴れても止められるんだよ」と言っていました。 でも、サービス管理責任者の山田さんの手前、支援記録にそのことは書けませんでした。 その場面は、私の他に職員の佐藤広美さんも見ていました。

管理者の川村さんに報告しましたが、「山田さんは、金子さんが暴れるのを止めたんだから、 危険防止のためでしょう。しかたないよね」と言っていました。

金子さんは、現在も通所しているが、時々興奮することがあります。